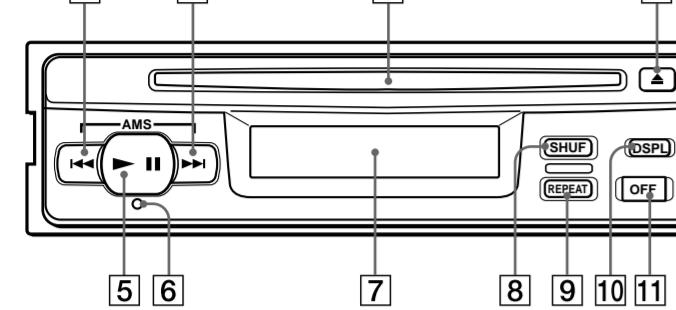


主な特長

- すべてのFMチューナー付きカーオーディオに接続が可能。
- CDの交換が簡単にできるインダッシュ取り付け。
- CDをクリアに演奏できる8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター。
- アダプターなしで8cmCDの演奏が可能。
- 強い振動で音とびが起っても、すぐに同じところから演奏を続けるクイックリカバリー機能。
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート演奏機能。
- CD内の曲を順番に演奏するシャッフル演奏機能。

各部のなまえ



- | | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------|---|
| ① AMS◀◀ (頭出し) ボタン
エーエムエス | ② AMS▶▶ (頭出し) ボタン
エーエムエス | ③ ディスク挿入口
シェイク | ④ ▲ (CD取り出し) ボタン
シードイ | ⑤ ▶▶ (CD再生/一時停止) ボタン
再生中に押すと一時停止します。 |
| ⑥ リセットボタン
エーエムエス | ⑦ 表示窓
ディスプレイ | ⑧ SHUF (シャッフル演奏) ボタン
リピート | ⑨ REPEAT (リピート演奏) ボタン
ディスプレイ | ⑩ DSPL (表示切換) ボタン
オフ |
| ⑪ OFF ボタン
再生中に押すと一時停止します。 | | | | |

操作

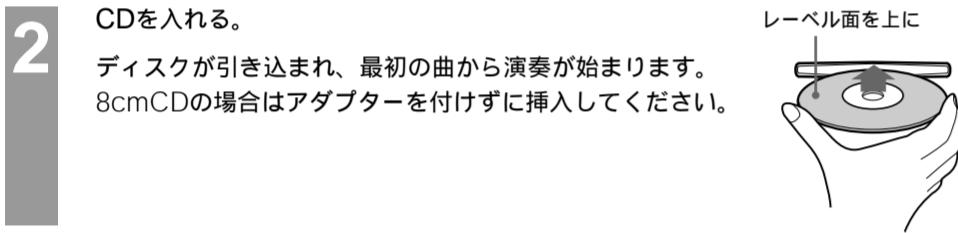
初めて使うときや接続を変えたときは、リセットボタンをつまようじの先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

ご注意

リセットボタンを押してから10秒間はCDを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。

CDを開く

- 1 FMチューナー付きカーオーディオのFMチューナーを本機で設定した周波数にあわせます。
初期値は88.3MHzです。



- 3 FMチューナー付きカーオーディオで音量を調節する。

- すでにディスクが入っているときは
▶▶ボタンを押すと再生が始まります。

- ご注意**
すでにディスクが入っているときに、別のディスクをディスク挿入口に入れないでください。故障の原因になります。
レーベル面を下にしてディスクを差し込むと、傷つくことがあります。

演奏を止める

OFFボタンを押す。

- ご注意**
FMラジオが放送を聞く場合は、必ずOFFボタンを押して本機の電源を切ってください。
CDの再生を止めるときスピーカーからザーリーという雜音がでます。FMチューナー付きカーオーディオの音量を下げるから再生を止めるようにしてください。

ディスクを取り出す

△ボタンを押す。

この時、出たいたディスクをそのままディスク挿入口に放置しておくと、ディスク保護のために約15秒後に自動的に本機内に引き込まれます。

曲の頭出しをする

- AMSI◀◀ボタンまたはAMSI▶▶ボタンを短く押す。
AMSI◀◀ボタンを押すと前の曲、AMSI▶▶ボタンを押すと次の曲の頭出しをします。飛ばしたい曲の数だけ押します。

聞きたいところを探す

- AMSI◀◀ボタンまたはAMSI▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで離す。
AMSI◀◀ボタンを押すと前に戻り、AMSI▶▶ボタンを押すと先に進みます。
ディスクの先頭または終わりになると「◀◀ ▶▶」または「◀◀ ▶▶」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

繰り返し聞く

再生中にREPEATボタンを押す、「REP」を表示する。

演奏中の曲を繰り返し再生します。

再度REPEATボタンを押すと表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。

曲順を変えて聞く

再生中にSHUFボタンを押す、「SHUF」を表示する。

ディスク内のすべての曲を順番に再生します。

再度SHUFボタンを押すと表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。

表示を切り換える

DSPLボタンを押す。

DSPLボタンを押すたびに、再生経過時間とトラック(曲番号)を交互に表示します。

ご注意

本機の取り扱い

本体表面を傷めないために
本体表面に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

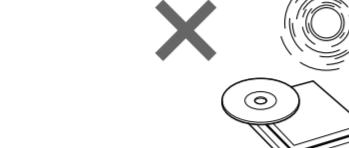
CDの取り扱い

コンパクトディスクの汚れや、ゴミ、キズ、それなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



お手入れ

再生する前に、再生面に付いたホコリやゴミ、指紋などを市販のクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にコンパクトディスクを傷めることができますので、使用しないでください。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどのりがはみ出したり、シールをはがしたりにのりが付いているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめられていのもの。

- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。

ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなったり。
高溫によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまったため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音飛びがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時になっても正常に動作しない場合はアフターサービスをおしあげください。

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、振動により配線がはずれていなければ、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

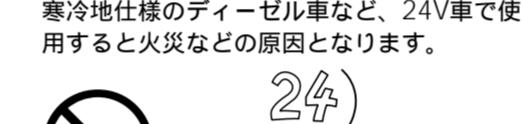
動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 安全な場所に車を止める
- 電源を切る
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

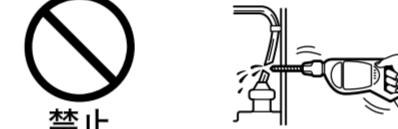
△警告 火災・感電により死亡や大けがの原因になります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。本機に付属の電源コードを、大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

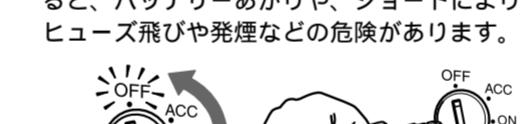
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をするとき、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシートレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにする、キーを抜いておく

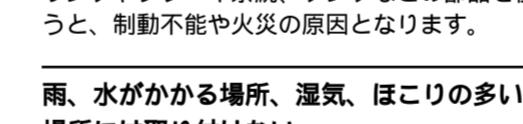
イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーがあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



規定容量のヒューズを使う

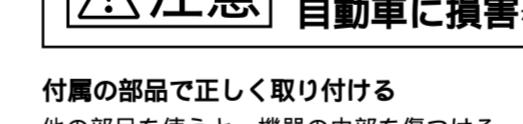
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。

規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



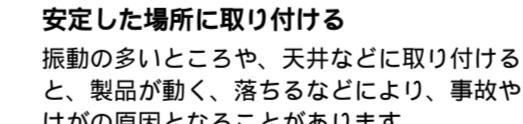
取り付け、接続作業をするときは、必ずイグニッションキーをOFFにする、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーがあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一本体に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



SONY

コンパクトディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品の取り扱いかたを守るために、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

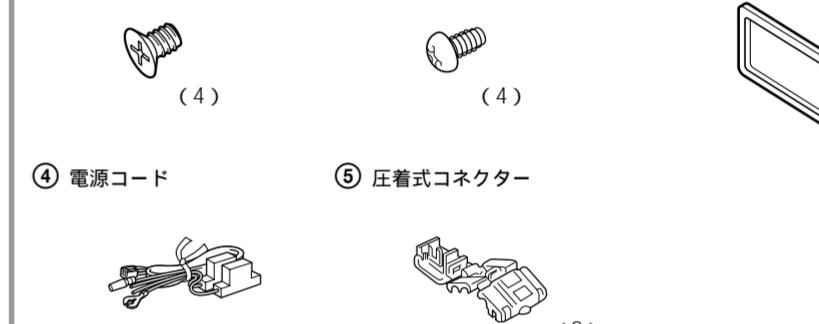
取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一本機を安全に使用するときは、この取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

CDX-1000RF

Sony Corporation © 2000 Printed in Korea

取り付け部品の確認(付属品)

- ① ⑥K5×8 ② ⑥T5×8 ③ 日産車用プレート



この「取扱説明書」に記載されている取り付け、接続先の機器は全て別売品です。ただし、付属品は除きます。

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内(FAX電話をご利用になれます)
カーフィッティングFAXサービス 車両メーカー、車

1 接続

必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。
(別売り品の仕様についてはカタログをご覧になるか、お買い上げ店にご相談ください。)

ショート事故を防ぐために

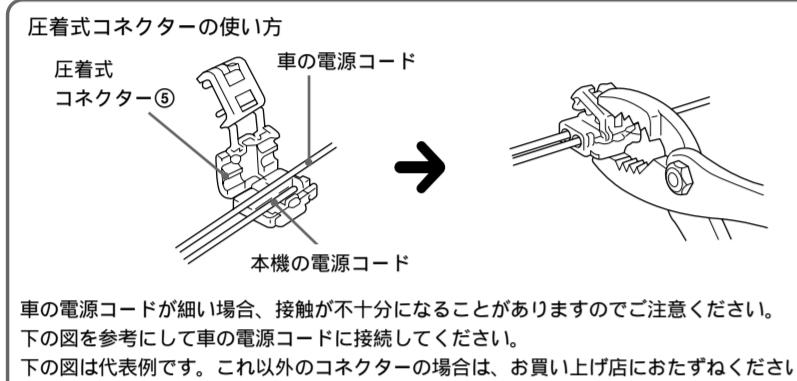
本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。

アクセサリー(ACC)電源へ
車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、
ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続
します。

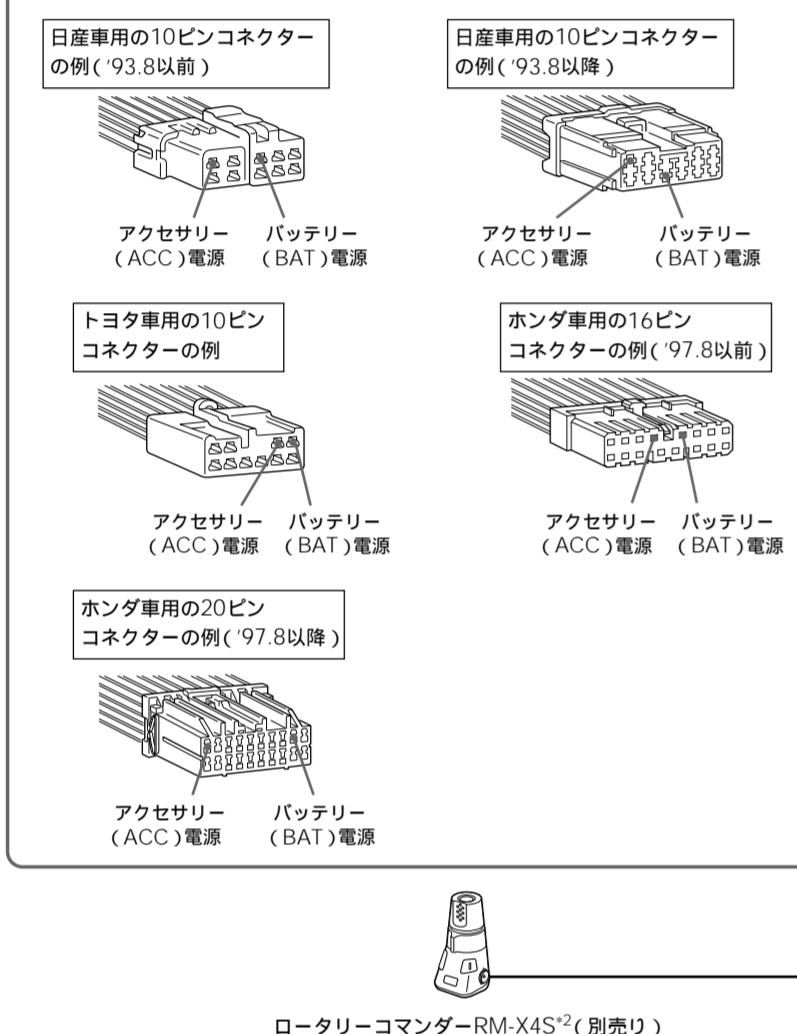
ご注意
必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。

バッテリー(BAT)電源へ(常時通電している電源へ)
車のキーに關係なく、常時通電しているところでヒューズの容量以上で電源が取れるところに接続します。イグニッションキーをOFFにすると、メモリ保持用の電流だけが流れます。

ご注意
・本機の黄色コード(バッテリー電源入力コード)を接続する前に、本機のヒューズ容量と車両側のヒューズ容量(ラジオまたはオーディオ)以下であることを確認してください。判断が難しい場合はお買い上げ店にご相談ください。
・必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。



車の電源コードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。
下の図を参考にして車の電源コードに接続してください。
下の図は代表例です。これ以外のコネクターの場合は、お買い上げ店におたずねください。

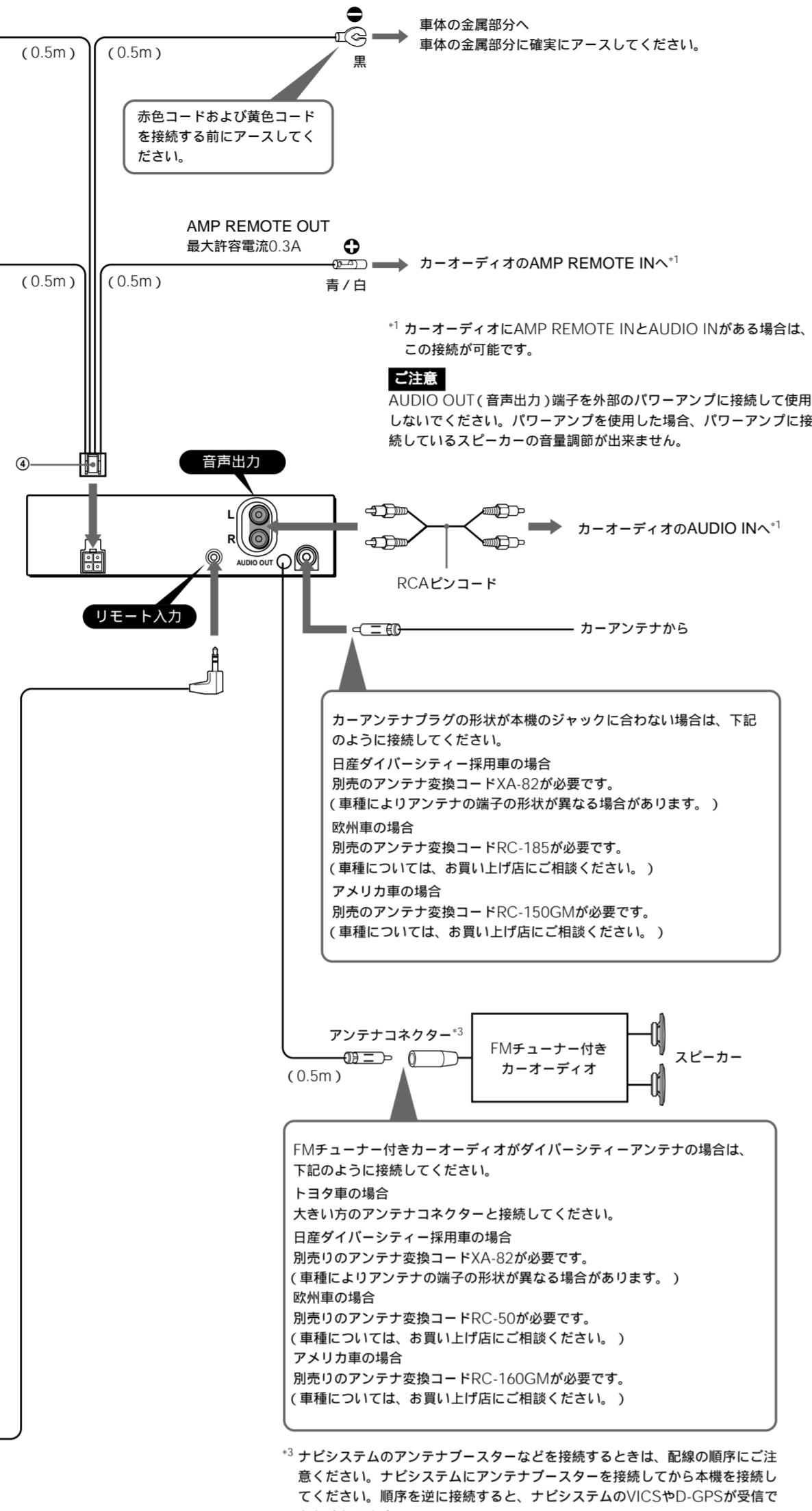


ロータリコマンダーRM-X4S²(別売り)

² ロータリコマンダーRM-X4Sを使用すると、本機の以下の機能が操作できます。
()内はロータリコマンダーでの操作方法です。

- 電源を入れる(SOURCEボタンを押す)
- 電源を切る(OFFボタンを押す)
- 曲の頭出しをする(SEEK/AMSつまみを短くして離す)
- 聞きたいところを探す(SEEK/AMSつまみを回し続ける)
- 音量(出力レベル)を調整する(VOLつまみを回す)

下記の「接続関係のご注意」も合わせてご覧ください。



2 取り付け

取り付け場所

こんな取り付け場所はお避けください。

- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

取り付け角度

水平から+60度以内で取り付けてください。

ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外スピーカーの種類が多いときは、混同しないようにしてください。

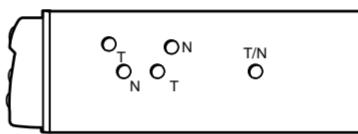


センターコンソールやインダッシュに取り付ける

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどはFMチューナー付きカーオーディオなどと共に本機を取り付けられます。
取り付け可能な車はお買い上げ店にお問い合わせください。
お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

純正プラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に印字されているT(トヨタ車／三菱車用)、N(日産車用)マークにプラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。



1

FMチューナー付きカーオーディオを取り外す。
ちょっと一言
FMチューナー付きカーオーディオの取り外しがわからぬ場合は、お買い上げ店にご相談ください。

2

本機とFMチューナー付きカーオーディオを取り付ける。
接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

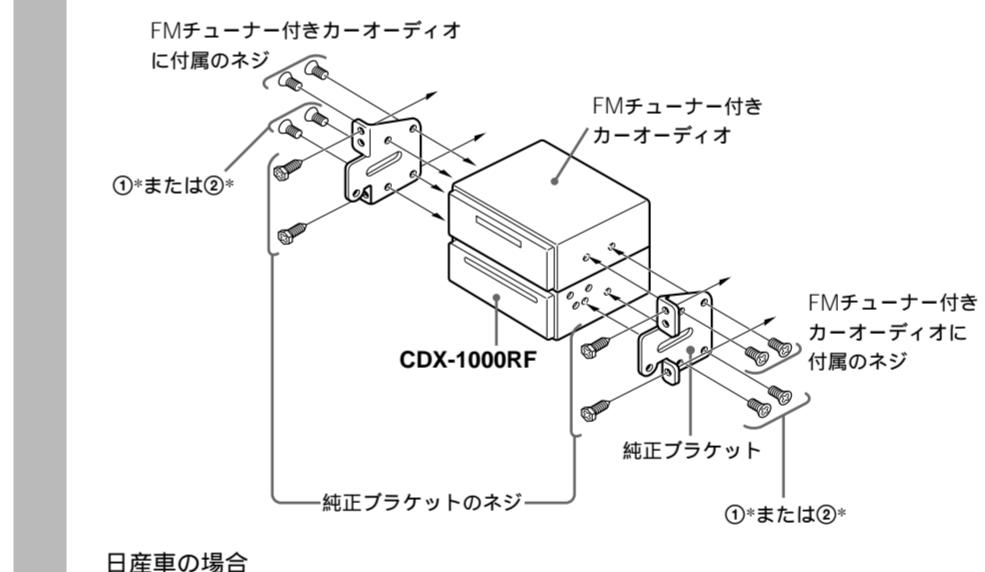
ご注意

- 取り付けの際は、必ず付属のネジをお使いください。また、車両側の純正プラケットを締さずして本体に直接ネジを締め付けると、故障の原因になります。
- 本機のフロントパネル部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機およびFMチューナー付きカーオーディオの上部に物をはさみ込まないでください。

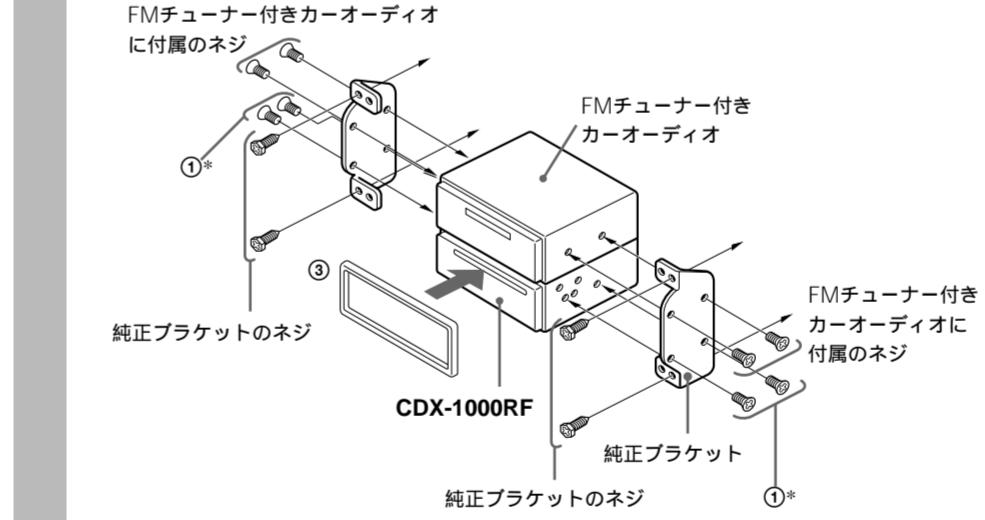
トヨタ車／三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)

①と②のネジは取り付ける車両により使い分けてご使用ください。

三菱車に本機を取り付ける場合は②のネジをご使用ください。



日産車の場合



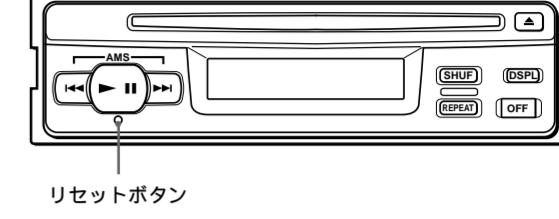
*付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

3 取り付けと接続が終わったら

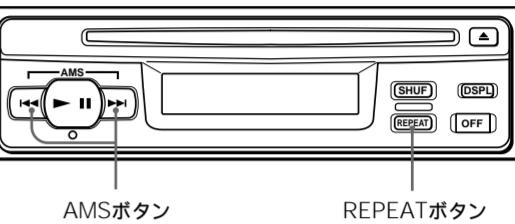
1 ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する。

2 リセットボタンをつまようじの先などで押す。

- ご注意**
- 電源へ接続直後、およびリセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れると故障の原因になります。もし入れた場合はリセットし直してください。
 - 針のようなもので強く押すと故障の原因になります。



4 設定する



送信周波数を設定する

本機ではCDをFMチューナー付きカーオーディオのFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があるとCD再生時に雜音が入ることがあります。その場合は本機からFMチューナー付きカーオーディオへ送る周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。

1 REPEATボタンを2秒以上周波数が表示されるまで押す。

2 AMSボタンを押して、周波数を選び。

▶▶▶を押すたびに周波数は次のように切り換わります。
88.3MHz → 88.5MHz → 88.7MHz → 88.9MHz → 89.1MHz → 89.3MHz →
89.5MHz → 89.7MHz → 89.9MHz → 88.3MHz

◀◀◀を押すと逆順に表示されます。

3 最後にREPEATボタンを2秒以上押す。

- ご注意**
- 本機の周波数を変えたときは、必ずFMチューナー付きカーオーディオに登録(プリセット)する周波数も変えてください。

1 REPEATボタンを2秒以上押す。

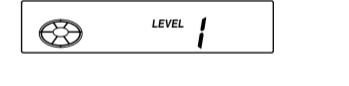
2 つづけてREPEATボタンを短く押す。



初期値

3 AMSボタンを押して、出力レベルを選ぶ。

◀◀◀を押すとレベルが低くなります。



▶▶▶を押すとレベルが高くなります。



4 最後にREPEATボタンを2秒以上押す。